

『環境保全等に対する取組み』

1.省エネに対する取組みとして新築建替えた本店の他に一部の支店では、消費電力が少なく長寿命のLED照明を採用し、それ以外の支店においては省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用して省エネに努めておりますが、更なる省エネに対する取組みとして、近年の電力不足による節電要請に応えるため全店のLED照明化を決定し、順次、LED照明への切替工事を進めております。



2.「エコ通勤」をご存じでしょうか?「エコ通勤」とは、従業員の通勤方法をマイカーから電車やバス等の公共交通機関や自転車、徒歩など環境にやさしい通勤手段へ切り替える取組みのことです。「エコ通勤」は地球温暖化防止をはじめ企業、従業員にとってメリットがあります。従業員の健康増進やコストの削減、企業イメージの向上等です。国土交通省及び交通エコロジー・モビリティ財団では、エコ通勤に関して高い意識を持ち、エコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所を認証・登録し、その取組みを広く紹介しております。かわしんは、平成24年に本店、支店を合わせて45の事業所を登録しております。「エコ通勤」や「エコ通勤優良事業所認証制度」について詳しくお知りになりたい方は、下記のサイトへアクセスしてください。



国土交通省
エコ通勤ポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
エコ通勤優良事業所認証制度のご案内

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

『環境問題常識テスト』

★以下の問題にチャレンジして、環境知識レベルをチェックしてみてください。 (答えは3面の最下段に掲載)

- 1998年の成立後、新たな対策計画策定などで改正が重ねられ、2021年5月には「2050年カーボンニュートラル」宣言を明文化する形となった法律は?
a.環境基本法 b.循環型社会形成推進基本法 c.大気汚染防止法 d.地球温暖化対策推進法
- 2021年8月に第1作業部会による地球温暖化に関する第6次評価報告書を公表した機関「IPCC」は次のうちどれの略語?
a.気候変動枠組み条約事務局 b.気候変動に関する政府間パネル c.国連環境計画事務局 d.世界気象機関
- 国際社会がよりよい世界を目指すSDGs(持続可能な開発目標)は、<A>のゴールと<イ>のターゲットで構成される。<A><イ>の正しい組み合わせは?
a.A:17 イ:169 b.A:169 イ:17 c.A:10 イ:100 d.A:100 イ:10
- 電力の契約には様々な形態があるが、そのうち使用した分に応じて課金される一般家庭に多く見られる契約形態は?
a.定額電灯 b.臨時電灯 c.従量電灯 d.低圧電力

【環境市場新聞:R4冬季第67号より転載】

『環境保全等へ向けた商品』

カーライフプラン

*電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・低燃費かつ低排出ガス認定自動車等の環境に優しい新車の購入を、金利の引き下げで応援しております。



安心リフォームプラン 「一家団楽」

*太陽光発電やエコ仕様の設備購入・設置・修繕、オール電化システムのリフォームにご利用いただけます。



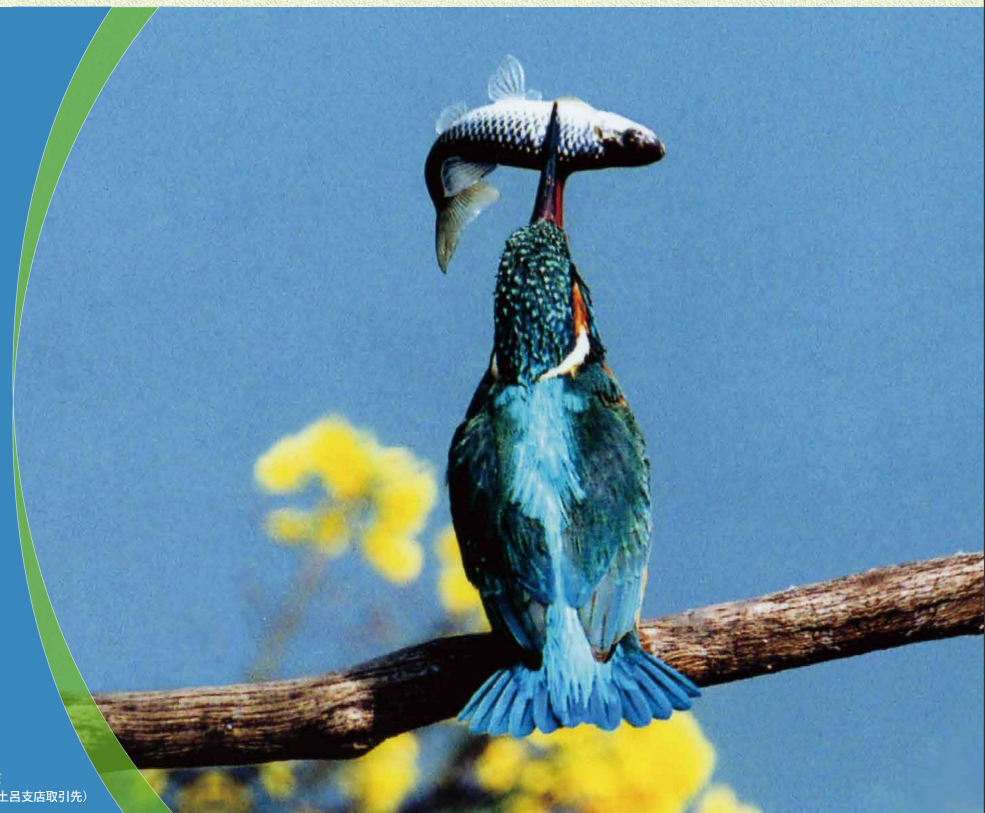
SDGsサポートローン

*埼玉県SDGsパートナー制度に登録した方または登録申請をした方を対象に、金利を優遇した事業者向けの融資商品です。(埼玉県内4金庫合同企画)



第16号
令和4年11月発行

かわしんの 環境活動報告書



撮影場所:見沼田んぼ
撮影者:大和田保夫(土呂支店取引先)

かわしんは省エネ・温暖化対策等に積極的に取組み、環境保全活動を実践しています。



川口信用金庫
<https://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665

このパンフレットは環境に配慮し、世界の森林資源の責任ある利用を保證する「FSC®認証紙」にベジタブルインク(植物油インク)で印刷されています。

川口信用金庫



SDGsとは、国連が定めた「誰一人取り残さない」持続可能な開発目標であり、17の目標と169のターゲットがあります。



「かわしん」はコロナに負けず 地域経済の発展と環境保全に貢献する 信用金庫を目指しています。

みなさま、こんにちは。

昨年発生した新型コロナウイルス感染症は3年目に入り、感染者数は2千万人を超えてしまいました。しかし、未だ収束の兆しが見えない状況が続いており、現在も治療中の方や命をおとされた方もおいでになります。改めて罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、当金庫は平成16年にISO14001を取得して以来、電気使用量の削減や紙の使用削減などCO2排出量削減に向けた「環境負荷低減活動」に取り組んで参りました。また、令和2年4月にはSDGs宣言を行い、これまで取り組んできた「環境保全」に「地方創生」「社会貢献」を加えた3つをゴールとして掲げました。

「環境保全」については、省エネ・省資源による温暖化対策に向けた商品・サービスの提供や、環境に配慮した活動を推進する企業への支援、また、「埼玉県彩の国みどりの基金」「鴻巣市コウノトリの里づくり基金」への寄附など行っておりますが、今後もこれを継続推進し、地域経済の健全な発展と地域環境の保全に貢献して参ります。

これからも地域金融機関として、当金庫の事業活動を通じ「環境保全」をはじめとする「持続可能な開発目標」の達成に向け全力で取り組んで参りますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月

理事長 木村 幹雄



環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役員が一体となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉・環境を大切にすもの地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、この環境方針を全役員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

私たちの環境目標 令和4年度目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1	電力の使用	令和4年度の電力使用量を平成21年度比▲24%削減する
2	廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに令和4年度の物件費(別に定める費用)を平成21年度比▲24%削減し排出量の削減を図る
3	紙の使用・廃棄	令和4年度の紙費用を平成21年度比▲24%削減する

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1	既存の環境関連金融商品の拡販
2	新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3	OA機器の効率的活用
4	コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5	各種地域貢献活動の立案及び実行
6	環境関連のその他サービスの提供

『緑化推進事業』への協力

1.「彩の国みどりの基金」へ200万円を寄附致しました。当金庫は、森林の保全整備や身近なみどりの保全・創出を積極的に進めるため、「環境クリーン定期預金」を販売し、販売額の一定割合に相当する額を寄付しております。これまで24回募集し、販売総額は1,915億円、寄附総額は5,050万円となり、緑と川の再生のために使われております。令和3年の寄付金は、幸手市にある県営権現堂公園(2号公園)の植栽事業にお役立ていただきました。



2.「フラワーロード 緑と花でつくる川口の元気!!」のスローガンの基、フラワースタンドの設置に協賛し川口市の緑のまちづくり推進に協力しております。



3.地域の植栽事業、花壇の整備事業に協力致しました。地元子ども会や商店会、企業が環境美化活動の一環として行っている植栽や花壇の整備を各支店の職員がお手伝いしました。



『エコライフDAY』への積極的参加

CO2排出削減や地球環境保全の施策・取組みの推進のため、埼玉県と川口市が取組んでいる「エコライフDAY」にかわしんは参加しています。令和3年12月の「エコライフDAY埼玉2021(冬)」には、役員・家族593人が参加し、49万1119gのCO2を削減し、令和4年6月の川口市「エコライフDAY2022」には、役員・家族613名が参加、64万2500gのCO2削減をはかりました。



『クールビズ・ウォームビズ』の徹底

地球温暖化防止対策として、環境省が提唱する「クールビズ」「ウォームビズ」の実施により電力使用抑制に努めています。具体的には、エアコン稼働の設定温度の遵守や夏の軽装、冬の柔軟な服装の選択等の他に各部店各々の工夫により、CO2の排出量削減努力を行っています。



『2022かわしんSDGsカレンダー』

各ご家庭、職場でSDGsを身近に感じ、実践をしようために「みんなができるSDGs」をテーマに職員からアイデアを募集して2022かわしんSDGsカレンダーを作成しました。このカレンダーは、関東信用金庫協会が主催する第43回PRコンクールにおいて入賞を果たしました。



令和3年度の事業活動・環境活動

● 電力とCO2排出量の削減

基準年の平成21年度の電気使用量315万7822kWhに対して令和3年度の電気使用量は246万7244kWhと▲69万578kWh、▲21.9%の削減を図っておりますが、前年対比では6245kWh・0.3%と僅かながら増加しました。今後も冷暖房設備の稼働状況のきめ細かなチェック等更なる節電に努めて環境目標の達成を図ります。

● 廃棄物の削減

事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全体量を把握しています。削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、943万円、7.1%増加致しました。増加の要因は、重要書類の保管室の新設費用、Hi-Co通機の導入費用等の突発的な要因に起因しております。それらの要因を除くと基準年度対比は、▲1,173万円、▲8.8%の減少しており、今後も継続して削減に努めて参ります。

● 紙の使用

削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、廃棄物全体のうち「紙の使用量」及び「排出量」について検証しました。基準年度比 ▲1,501万円、▲16.7%減少致しました。前年度(令和2年)比も▲697万円減少しており、削減効果は持続しております。